

第 25 回 協働のまちづくり推進特別委員会

令和 6 年 2 月 22 日 (木)

13 時 45 分～ 時 分

第 2 委 員 会 室

【委 員】 西田委員長、上野副委員長

村木委員、村武委員、柳楽委員、岡本委員、芦谷委員、川神委員

【議長・委員外議員】 笹田議長

【事務局】 松井次長、小寺書記

議 題

- 1 特別委員会の最終報告について
 - (1) 報告内容確認

 - (2) その他

- 2 市民等へのメッセージについて
 - (1) 浜っ子タイムズ

 - (2) はまだ議会だより

 - (3) その他

- 3 その他

令和 6 年 3 月 定例会議

協働のまちづくり推進特別委員会 最終報告

令和 6 年 3 月 4 日

本特別委員会は、「協働のまちづくりの推進について調査及び研究を行うとともに、市に対し必要な意見及び提言を行うこと」を目的に、令和 4 年 3 月 17 日に議会の議決を経て設置されたところです。先般、市長に対し、これまでの調査に基づく提言書を提出するに至り、所期の目的を達成したことから、この特別委員会の活動に区切りをつけるべく、最終報告をさせていただきます。なお、令和 5 年 7 月 3 日に第 12 回特別委員会開催までの取組の中間報告を行っておりますので、その報告以降の取組について報告をいたします。

まず、令和 5 年 7 月 7 日には滋賀大学の横山幸司教授に講師を依頼し、「地域の改革と中間支援（コミュニティ支援・協働支援）」と題した勉強会を、Zoom を活用したオンラインで実施しました。協働のまちづくりの本質は役割分担であることや、地区まちづくり推進委員会やまちづくりセンターのあるべき姿などを委員で共有することができました。

そして、第 13 回の特別委員会は 7 月 13 日に開催し、さきの勉強会の振り返りを行い、また、提言を形にするための柱となるテーマについて委員間で協議を行いました。

第 14 回の委員会は 8 月 9 日に開催し、提言に向けた自由討議を行うこととし、正副委員長から「まちづくりセンターのあり方」「中間支援組織」などの 7 項目のテーマを示し、各委員が意見を述べ、認識の共有を深めました。そして、この自由討議を踏まえ、6 人の委員が 6 項目の提言テーマについて、提言内容を作成することとしました。

8 月 22 日に開催した第 15 回、9 月 13 日の第 16 回、9 月 27 日の第 17 回の委員会では、各委員が作成した提言（案）について、それぞれの考えをぶつけ合いながら自由討議を重ね、提言を形にしていきました。

そして、提言の内容を固めたところで、10 月 16 日に執行部との意見交換を行い、提言内容に対する市の考えを確認し、もう少し委員会内でも協議が必要な点を洗い出すことができました。また、意

見交換の前には、第18回の委員会として、提言の内容にも関わる「協働のまちづくり推進計画」及び「まちづくりセンター」の評価・検証について、執行部から報告を受けました。

第19回の委員会は11月1日に開催し、これまで特別委員会でまとめた提言案を各会派に持ち帰ってもらい、委員外議員の意見を伺った結果を共有しました。そして、実際に各地域でまちづくり活動に取り組んでおられる地区まちづくり推進委員会の方々を対象とした意見交換を行うこととしました。また、特別委員会からの提言ではなく、浜田市議会としての提言とするべく、政策討論会幹事会への議題提案を検討しましたが、上記意見交換も踏まえた提言内容を改めて固めたところで再度検討することとしました。

第20回の委員会は11月10日に開催し、地区まちづくり推進委員会との意見交換の実施方法について、また、執行部との意見交換を踏まえた提言内容の修正について協議しました。

第21回の委員会は11月24日に開催し、地区まちづくり推進委員会との意見交換の最終調整を行いました。

そして、12月4日に弥栄地域の弥栄のみらい創造会議の方々と、7日に浜田地域の18の地区まちづくり推進委員会の方々と、8日に金城地域の6団体12名の方々と、11日に三隅地域の6団体24名の方々と、13日に旭地域の5団体12名の方々と意見交換を行いました。まちづくり総合交付金に対する要望や世代交代の難しさなどの意見がありました。

第22回の委員会は12月25日に開催し、地区まちづくり推進委員会との意見交換の振り返りを行い、提言に盛り込む内容について協議しました。また、これまでの委員会の取組や市民に対するメッセージを発信する手法として、浜っ子タイムズへの出演やはまだ議会だよりへの記事掲載を行うこととしました。

第23回の委員会は令和6年1月10日に開催し、提言内容を仕上げ、政策討論幹事会への議題提案について、改めて協議しました。その結果、これまで特別委員会のメンバーで取り組んできたことを委員会の成果として提出することとし、政策討論会幹事会への議題提案は見送ることとしました。

そして、提言内容を整え、1月25日に改めて執行部との意見交換を行い、最終調整の上、2月16日に市長に対し提言書を提出しました。

提言の内容は以下の7項目にまとめています。

- (1) 地区まちづくり推進委員会のあり方について
- (2) 町内会等のあり方について
- (3) まちづくりセンターのあり方について
- (4) まちづくりコーディネーターの継続及び強化について
- (5) 地域協議会のあり方について
- (6) 人材の発掘及び育成について
- (7) 全市民で協働のまちづくりを進めるために

また、地区まちづくり推進委員会設立準備会に対しては書面で意見聴取を行い、対面での意見交換を希望すると回答のあった3団体とは、各団体の定例集会に併せて意見交換を行い、委員会の取組で得た知見や各々の委員の地域での取組などを紹介しました。

そして、2月22日に第25回の委員会を開催し、最終報告の文言確認と市民へのメッセージの内容協議を行い、最後の特別委員会を終了しました。

この最終報告をもって、協働のまちづくり推進特別委員会は調査を終了します。浜田市協働のまちづくり推進条例に基づいて所管していた事項については、総務文教委員会へ戻し、提言の進捗と合わせて取扱いをお願いいたします。

協働とは「役割分担」で、全ての公共政策にその領域があり、今後の浜田市のまちづくりの肝であります。議員の皆様におかれましては、各委員会での審査や調査などの議会活動、また、それぞれの議員活動において、引き続き協働の視点を持って取り組んでいただきたいと思います。

以上、協働のまちづくり推進特別委員会の最終報告といたします。

浜っ子タイムズ、はまだ議会だよりによる市民へのメッセージ

浜っ子タイムズ、はまだ議会だよりを用いて市民へ訴えたい内容

※入れたい図表、写真等あればお示しください

【村木委員】

■協働とは

市民等及び市が、→市民だけでなく、同格として市も関わる
相手の立場や違いを尊重し、→人権尊重が根底にある。

一人ひとりが当事者意識を持ち、→誰かがやるのではなく、誰もがやる。

責任や役割分担を明確にし、→できる範囲で。できることを。できる時に。

同じ目的のために共に考え、行動することをいう。→目標を定め、動きましょう。

※「協働」の漢字をばらしてみると、小さい「力」が三つ、この三つは、固(市民)・
地域や企業(等)・市を+し、人が動くことを示していると思います。

■まちづくりとは

市民等が地域の活動に参画し、→「協働」を意識する中

自分達が暮らす地域をより住みよくしていくことをいう。→生涯学習の理念

■「生涯学習とまちづくりの関係」とは

その地域一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう
(目指す姿、望ましい社会、地域の計画等)、その生涯(幼年期、少年期、成人、高齢期等あ
らゆるタイミングにおいて)にわたって、あらゆる機会に(子ども会、サークル、スポー
ツ、防災訓練等異世代、同世代、あらゆる機会において)、あらゆる場所(集会所、まちづ
くりセンター、多目的広場、スポーツ施設等)において学習(研修、調査、話し合い等)する
ことができ、その成果(目指す姿の実現、望ましい社会への取組、地域の計画を策定等)を
適切に活かす(関わる、実践する等)ことのできる社会の実現。

【柳楽委員】

○協働のまちづくりの理念。

○できる人が、できる時に、できることを行うのが協働のまちづくりに繋がること。

○子ども・若者にも積極的にまちづくりに参画してもらえよう、官民一体となっ
て取り組むこと。

○浜田市社会教育推進計画等を踏まえ、学びを通じたコミュニティづくりの推進。

【芦谷委員】

住民が町内会に総参加し、横につながり、住民の力を集め協力し合うことで、住み
やすく元気な地域をつくる

支え合い助け合い

一人の力より皆の力

交流があり元気あふれる

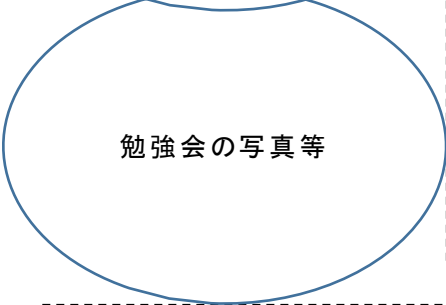
住民それぞれに役割と活躍の場、出番があり、居場所がある

～できる人が、できる時に、できる事を～

協働のまちづくり推進特別委員会



意見交換の写真等



勉強会の写真等

今までの特別委員会の取組

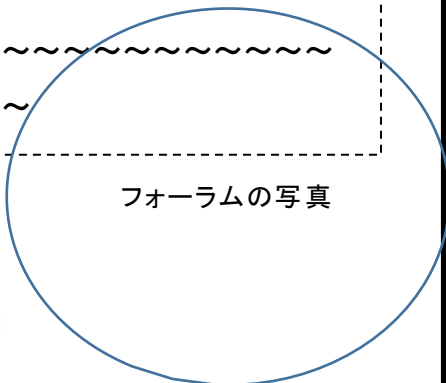
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

提言書

二次元コード

委員会（委員長）からのメッセージ

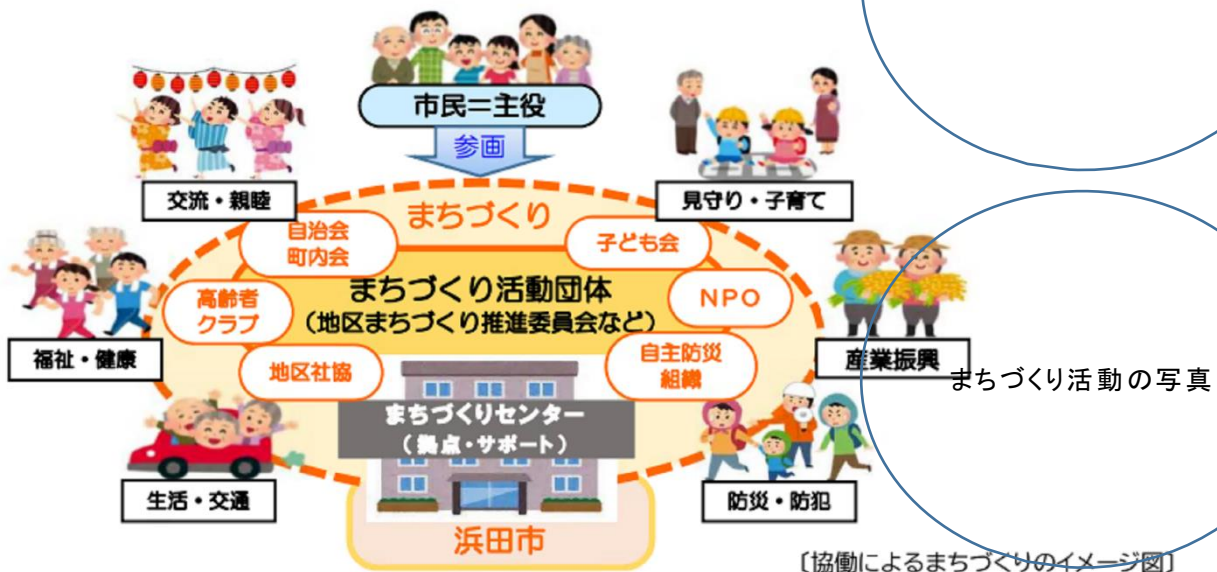
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



フォーラムの写真



まちづくり活動の写真



〔協働によるまちづくりのイメージ図〕